



山田 洋子
(市民連合クラブ)

鳶沼展望デッキ有料化の結果は

事前予約と協力金により

渋滞対策等に一定の成果があった

議員 鳶沼展望デッキの有料化の取組内容とその結果は。

農林商工部長 紅葉期の早朝の渋滞対策と新型コロナウイルス感染症対策で、事前予約制と協力金制度を導入し、入場できる人数を制限しました。十分な周知期間が設けられませんでした。ですが、デッキの混雑や路上駐車が全く発生しなかったため、一定の成果があったものと考えています。

議員 協力金4千円の設定は妥当だったか。

農林商工部長 環境省が行った利用者アンケートの結果では理解できるとの回答が多かったようです。今後、渋

滞対策協議会の中で金額の妥当性や今年度の取組の評価、検証を行い、議論していきます。

議員 協力金の使い道は。

農林商工部長 対策期間中の民間の警備スタッフの賃金や看板設置などに充てました。

議員 支払った方が納得できる有効な使い方希望する。

議員 国立公園満喫プロジェクトの延長についての市の考えは。

市長 ウイズコロナ時代への対応を念頭に、ワーケーション等、国立公園の新しい利用価値の提供に努めながら、引き続き関係機関と連

携し、休屋地区の魅力向上に取り組んでいきたいと考えています。

議員 休屋地区の石畳化工事が遅れている理由と今後の見通しは。

農林商工部長 一体的な進行が必要な環境省の園地整備事業との最終調整に時間を要したためです。令和3年7月までの完成を目指して工事を進めます。



石畳化が待たれる市道休屋十和田神社線

骨髄ドナー助成金の交付状況は

令和2年度は11月末現在でドナー・事業所各1件



今泉 信明
(市民連合クラブ)

議員 骨髄ドナー助成金制度ができて約1年たつが、交付状況は。

健康福祉部長 日本骨髄バンクが実施する骨髄・末梢血幹細胞提供あつせん事業で、骨髄等の提供者と、その提供者が勤務する事業所を対象に、骨髄ドナー助成金を交付する制度

を令和元年度から開始しています。令和元年度の申請は0件でしたが、令和2年度は11月末現在でドナー1件、ドナーが勤務する事業所1件の申請があり、助成金を交付しました。

議員 今後の課題は。

健康福祉部長 骨髄等の移植を推進するためには、骨髄バンクへのドナー登録やドナーによる骨髄等の提供がしやすい環境づくりが重要であり、助成事業を推進していきたいと考えています。

現在は各種ホームページから制度をお知らせしていますが、今後は献血事業への協力事業者や献血にご協力いただいた市民に、ドナー登録と骨髄ドナー助成事業をお知らせするチラシを配付し、広く周知したいと考えています。

議員 稲吉地区にカントリーエレベーターが建設されるようだが、これにより近隣の通行車両が増加し、事故が多発する懸念がある。隣接する市道相坂儀兵衛線を拡幅する考えは。

建設部長 施設の供用により交通量の増加が想定され、現在の車道幅員では渋滞や交通事故等の発生が懸念されるので、カントリーエレベーターの建設区間については車両の対面通行が可能となるように道路整備していきたく考えています。



交通安全につながる道路整備を